

増田小夜 録が 大正十四年長野縣鹽尻生れ（一九二一）。幼時より辛酸  
 きと嘗め、二十歳で初めて習ひ覚えたる文字で、昭和二十九年雑誌『主  
 婦之友』に半生の手記を應募。次で『芸者』（昭和二十一年八月二十  
 日平凡社「人間の記録双書」、再刊『芸者―苦闘の半生涯』四十六年  
 八月一日平凡社・AJBC版）を執筆。他『コトどん底』開店『芸者  
 から店主への血みどろの道を歩いた女性の告白』（昭和二十八年二月  
 二十一日主婦の友社「主婦の友新書」）がある。

